

## ⑬ 公開実用新案公報(U)

昭63-156421

⑨ Int. Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

④ 公開 昭和63年(1988)10月13日

F 02 B 27/02  
F 16 J 15/10M-7616-3G  
A-6673-3J

審査請求 未請求 (全3頁)

⑧ 考案の名称 多気筒内燃機関の吸気装置

⑪ 実 願 昭62-47643

⑫ 出 願 昭62(1987)4月1日

⑬ 考 案 者 岩 室 稔 愛知県豊田市トヨク町1番地 トヨク自動車株式会社内  
⑭ 考 案 者 石 井 和 徳 愛知県大府市共和町1丁目1番地の1 愛三工業株式会社内  
⑮ 考 案 者 皿 井 直 人 愛知県大府市共和町1丁目1番地の1 愛三工業株式会社内  
⑯ 出 願 人 トヨク自動車株式会社 愛知県豊田市トヨク町1番地  
⑰ 出 願 人 愛三工業株式会社 愛知県大府市共和町1丁目1番地の1  
⑱ 代 理 人 弁理士 青 木 朗 外5名

## ⑯ 実用新案登録請求の範囲

サージタンクの一側端面から他側端面に向けてサージタンクの長手方向に延びる隔壁によりサージタンクの内部を第1のサージタンク内部室と第2のサージタンク内部室とに分割し、第1サージタンク内部室を第1の気筒群に連結すると共に第2サージタンク内部室を第2の気筒群に連結し、サージタンクの上記一側端面に吸気ダクト部を連結して各サージタンク内部室を該吸気ダクト部を介してエアークリーナに連結し、サージタンクの上記他側端面上に開孔を形成すると共に該開孔周りの隔壁に切欠きを形成し、該切欠き内に嵌着して隔壁の一部を形成する隔壁部分と該開孔を閉塞する蓋部分とを一体形成した弁ホルダをサージタンクと別体に形成し、該ホルダの隔壁部分に第1サージタンク内部室および第2サージタンク内部室とを連通する互いに連通する連通孔を形成すると共に該連通孔内に機関の運転状態に応じて開閉制御される吸気制御弁を配置した多気筒内燃機関の吸気装置において、上記隔壁部分の外周壁面と上記切欠きの内周壁面間にそれらの全周に亘って延びる帯状シール部材を挿入し、該シール部材の内周面或いは隔壁部分の外周壁面のいずれか一方

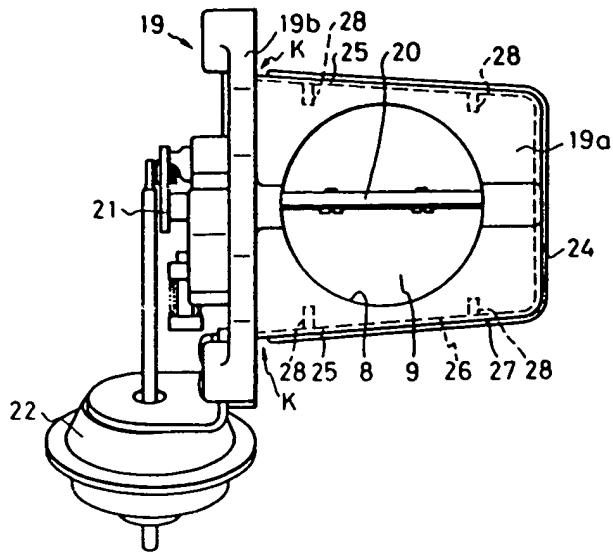
に形成した突起をそれらのうちの他方に形成した突起受容孔<sub>29</sub>に嵌着してシール部材を隔壁部分の外周壁面上に固定するようにした多気筒内燃機関の吸気装置。

## 図面の簡単な説明

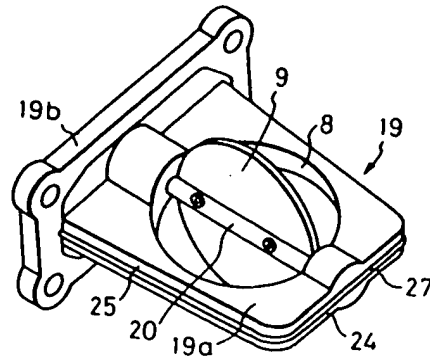
第1図は弁ホルダの平面図、第2図は弁ホルダの斜視図、第3図は弁ホルダの側面図、第4図は帯状シール部材の平面図、第5図は帯状シール部材の側面図、第6図はサージタンクの斜視図、第7図は隔壁部分を切欠き内に嵌着したときを示す断面図、第8図は第7図のⅥ-Ⅵ線に沿ってみた断面図、第9図は第8図のⅨ-Ⅸ線に沿ってみた断面図、第10図は帯状シール部材の内周面を示す図、第11図は吸気系全体を図解的に表わした図、第12図は吸気制御弁の開閉領域と軸トルクを示す線図である。

4……サージタンク、5……隔壁、6……第1サージタンク内部室、7……第2サージタンク内部室、8……連通孔、9……吸気制御弁、16……開孔、17……切欠き、19……弁ホルダ、26……凹溝、27……帯状シール部材、28……突起、29……突起受容孔。

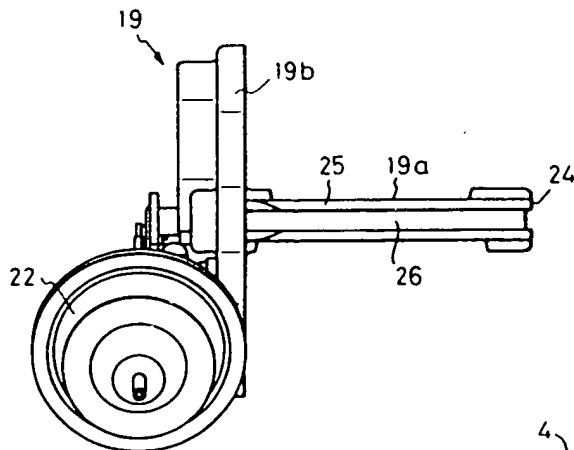
第1図



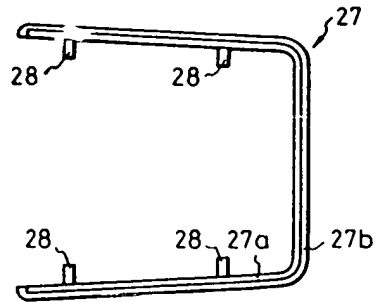
第2図



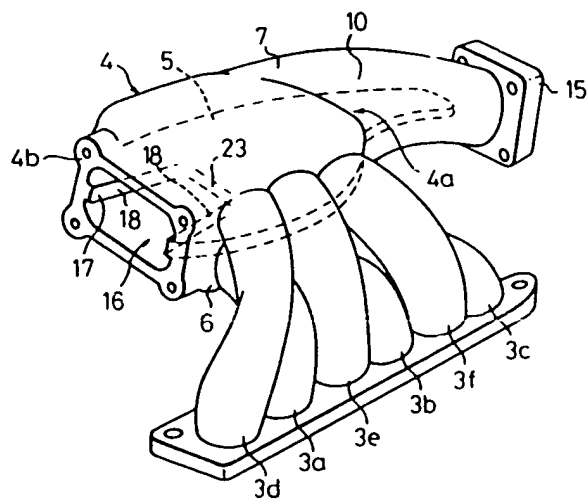
第3図



第4図



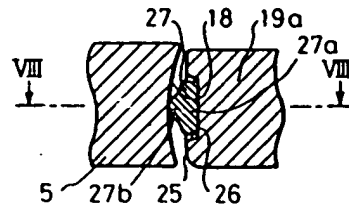
第6図



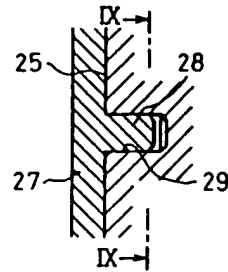
第5図



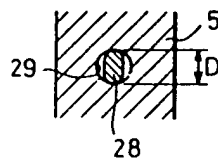
第7図



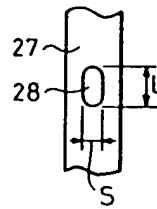
第8図



第9図



第10図



第12図

第11図

